

聖徳大学楽習フェスタ 2013「第 15 回生涯学習フォーラム」は「人が変わる。地域が輝く。～生涯学習の未来を語ろう～」がテーマです。

自分自身が変わるために、地域が輝くために、子どもたちが希望を持って生活できる社会にするために。生涯学習まちづくりの視点で何ができるのか。明石先生の講演でヒントを探り、「市民協働」「女性」「子育て」「音楽」をキーワードに語り合しましょう。

また、今回のフェスタは伊勢丹松戸店と協力し、昨年好評だった「おしごとデパート」を本物のデパートを会場に実施します。お子さんたちに存分に楽しんでいただき、自分の将来像を思い描くきっかけにできればと思います。

生涯学習は一人ひとりが主人公です。それぞれの立場で、それぞれの係わり方で、交流を楽しんでください。



聖徳大学生涯学習研究所長 福留 強

まつど おしごとデパート

今年は伊勢丹松戸店で開催中！
ぜひお立ち寄りください。



聖徳大学生涯学習研究所は、大学と地域を結ぶ研究と、 生涯学習の推進に関する研究のための機関です

聖徳大学生涯学習研究所は、より良い生涯学習社会を実現するため、広く教育全般に貢献することを目的として設立されました。この目的を達成するため、当研究所は、生涯学習の推進やまちづくりに関する研究、大学を活用した再チャレンジに関する研究、生涯学習に関する情報の提供・収集・相談などを行っています。

聖徳大学生涯学習研究所は、市民のみなさんの「生涯学習」「まちづくり」をサポートし、一緒に考えていきます。ぜひ、ご相談にお立ち寄りください。

お問い合わせ 聖徳大学生涯学習研究所
〒271-8551 千葉県松戸市松戸 1169
聖徳大学生涯学習社会貢献センター（聖徳大学 10 号館）6 階
TEL:047-365-5691 FAX:047-365-5692
URL:<http://www.tunagari.jp/> Email:frontier@seitoku.ac.jp



よりしなやかに、未来へ
80th SEITOKU

学校法人東京聖徳学園創立 80 周年記念事業
聖徳大学楽習フェスタ 2013 第 15 回生涯学習フォーラム

人が変わる。 地域が輝く。 ～生涯学習の未来を語ろう～

日時 平成 25 年 6 月 23 日(日)
13:15～16:30

会場 聖徳大学生涯学習社会貢献センター
(聖徳大学 10 号館) 千葉県松戸市松戸 1169
JR 常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩 1 分

14 階

13:15～13:30
13:30～14:50

提言 福留 強（聖徳大学生涯学習研究所長）
記念講演 明石要一（千葉大学名誉教授）

子どもに多様な体験をさせよう

～ガリ勉じゃなかった人はなぜ高学歴・高収入で異性にモテるのか～



明石 要一（千葉大学名誉教授）

【プロフィール】 東京教育大学大学院博士課程単位取得満期退学後、昭和 51 年千葉大学に助手として入職。講師、助教授、教授を経て現職。専門は教育社会学。文部科学省中央教育審議員、同省生涯学習分科会長、同省中央教育審議会スポーツ青少年分科会委員、千葉市教育委員、千葉県青少年問題審議会副議長も務める。「子どもの規範意識を育てる」「キャリア教育はなぜ必要か」（いずれも明治図書）ほか著書多数。最新著書は「ガリ勉じゃなかった人はなぜ高学歴・高収入で異性にモテるのか」（講談社＋α 新書）。

【内 容】 「子どもには無限の可能性がある」と頭では理解しても、親の立場になると、わが子には学業優先で押し付けてしまう傾向はありませんか？結果的に可能性の幅を狭めてしまっていないでしょうか。講師の明石要一氏は、国立青少年教育振興機構が 5,000 人の成人を対象にした「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」を使って「学校外の体験がなぜ必要なのか」などについて分析し、ガリ勉と呼ばれるような子どもではなかった人が「高学歴」「高収入」を手に入れているという結論を導きました。その理由をデータに基づいて明らかにします。

主催：聖徳大学生涯学習研究所 / 共催：特定非営利活動法人全国生涯学習まちづくり協会 / 後援：千葉県教育委員会・松戸市・松戸市教育委員会

第1分科会・会場:12階

「市民と共にまちづくり」

15:00 ~ 16:30 12 階

佐藤 秀夫

(公益財団法人 興風会館長)
平成 22 年教職を退いた後、野田市福田公民館長を経て同 25 年 4 月より現職。公益財団法人として取り組む社会教化事業の現状を発表する。

パネラー



本間 澄江

(千葉市生涯学習センター学習支援グループ)
生涯学習相談員を経て、平成 23 年度から指導者養成事業・ちば生涯学習ボランティアセンターの運営を担当。千葉市生涯学習センターのボランティア支援事業について報告する。



深井 章

(埼玉県八潮市市民活力推進部部長)
昭和 52 年東邦大学理学部を卒業後、八潮市役所に入庁。公害、法規、広報、企画、生涯学習、子育て支援等を経て現職。八潮市における市民との協働の取り組みを披露する。



コーディネーター
清水 英男
(聖徳大学教授)

いま、生涯学習の現場はどのように動いているのか。市民と共にその土地ならではの生涯学習に取り組む登壇者の声を聞き、生涯学習のこれからを話し合います。

第2分科会・会場:12階

「女性とまちづくり」

15:00 ~ 16:30 12 階

峰村 尚子

(千葉県印西市教育委員会生涯学習課主任主事)
大学卒業後、印西市役所に入庁。公民館、文化ホール勤務を経て、平成 21 年から現職。女性として、母として、行政職員として、まちづくりに携わる現場の声を届ける。

パネラー



上田 智子

(聖徳大学講師)
専門は教育社会学。平成 23 年度より浦安市男女共同参画推進会議の会長を務め、男女共同参画の視点からの防災ガイドブックの作成に携わる。その際のエピソードを紹介する。



刎持 英子

(松戸みどりライオンズクラブ会長、
松戸商工会議所 女性会理事)
松戸駅東口駅前の「café de KAORI」のオーナー。松戸警察署女性友の会、松戸逸品研究会など、松戸に根ざした自らの活動と「創年のたまり場」運営の思いを語る。



生涯学習研究所が提唱する「女子力を発揮したまちづくり」を実践する女性にそれぞれの立場や視点で、夢や希望、抱えている課題などを発言していただきます。「女性がまちづくりに関わること」の現状を共有し、今後について語り合います。



コーディネーター
長江 曜子
(聖徳大学教授)

第3分科会・会場:5階

「子育てタウン～地域体験で親子が育つまちづくり～」

15:00 ~ 16:30 5 階

御処野 紀夫

(埼玉県松伏町教育委員会 教育長)
大学卒業後、埼玉県小学校教員に。小学校教頭、校長や、八潮市、三郷市の教育委員会歴任。平成 21 年から現職。「子ども主役」の文化のまちづくり事業の実践事例を発表する。

パネラー



並木 孝樹

(T O S S 千葉、柏道場代表)
千葉県公立小学校教諭。民間教育団体「T O S S」の活動を母体に、平成 21 年、NPO 法人 T O S S 千葉子ども教育プロジェクトを設立。現代の子どもの姿をレポートする。



斉藤 進

(日本子ども家庭総合研究所 主任研究員)
母子愛育会勤務、大正大学大学院修士課程終了ののち現職。大正大学非常勤講師も務める。子育て環境の変化、子どもの生活、子育てと地域社会など、研究者の立場で解説する。



コーディネーター
西村 美東士
(聖徳大学教授)

「子育て文化のまちづくり」を進める行政責任者、地域と連携して学力・社会力を育む教師、親子健康づくりネットワークの研究者。それぞれの立場から、親子が共に育つ地域社会のあり方を見いだします。

第4分科会・会場:14階

「音楽と福祉のまちづくり」

15:00 ~ 16:30 14 階

藤田 洋二

(相談支援事業所なでしこ 相談支援専門員)
平成 21 年から東京都杉並区にある相談支援事業所の相談支援専門員、障がい者支援施設課長を兼務。福祉施設と地域の交流に「音楽」を用いたきっかけやエピソードを紹介する。

パネラー



金城 護

(社会福祉法人ジョイ松戸 理事長)
昭和 52 年松戸市に入庁。子ども発達センター、生きがい福祉センター長を歴任。平成 23 年 3 月退職後から現職。交流から生まれる「共生の地域社会」実現の展望を明らかにする。



久保田 牧子

(昭和音楽大学准教授)
東京学芸大学卒業後、東横恵愛病院、北里大学病院などで音楽療法臨床を重ねる。昭和音楽大学で進める地域連携プログラム「アーツ・イン・コミュニティ」の経緯を報告する。



音楽を媒介に、高齢者と若者、障がい者と健常者がふれあう機会を創出する動きが各地で活発になっています。その実践者の体験談をもとに、福祉分野における音楽の役割と可能性を考えます。



コーディネーター
郡司 正樹
(聖徳大学准教授)